

令和5年度第1回国民健康保険運営協議会 議事録（要点筆記）

日時 令和6年3月27日(水) 午後6時30分～午後7時45分

場所 富良野文化会館 会議室A

出席者 19名

(委員) 8名 北村委員、増田委員、日向委員、小山内委員、細見委員、市村委員、大西委員、早川委員

(市) 11名 北市長、山下市民生活部長、柿本保健福祉部長、須藤市民課長、今井税務課長、佐藤保健医療課長、中尾健康推進係長、多田医療年金係長、

(オブザーバー：R6.4.1 人事異動対象者) 北川建設水道部長、渡辺市民税係長、渡辺職員係

1 開 会 (須藤市民課長)

事務局員の紹介

2 市長挨拶 (北市長)

お忙しい中委員の皆さまにご出席いただき、国保健康保険の運営に関してご尽力いただいていることに対してお礼とともに、人事異動により4月から新体制へ向かって動き始めることから委員の皆さまによるしくお願ひ申し上げる。

国民健康保険の運営に関して、今回提案させていただく保険税の賦課限度額の増額も2万円で抑えられるのは、高齢人口が下がってきていることも要因の1つと考える。一方ではインフルエンザやコロナなど集団的に大発生した場合、たちまち負担が増えてくることから油断のできない状況かと思っている。何よりも市民の皆さまが健康で医療費にお世話にならないで済むということが大切である。医療介護福祉の地域の連携会議の立ち上がりによる連携の強化、あわせて特定健診を多くの人に受診してもらえよう個別対応の強化を図っていく。健康に対する意識向上から、健診を受けて健康をさらに充実していく動きになってくれば、結果医療費の削減にもつながるものとする。本日それぞれ報告事項や協議事項など審議していただくが、健康の部分にも着目しながら忌憚のないご意見をお願いしたい。

3 会長挨拶 (早川会長)

平成30年度より始まった新たな国民健康保険制度が、令和5年度で6年目を迎える。この間、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が猛威をふるい、地域経済へも大きな影響を及ぼしたが、昨年5月より第5類に移行するなど、アフターコロナとして社会全体が動き出している。また、北海道どこに住んでいても同じ所得、世帯構成であれば同じ保険料負担となる統一保険料率を北海道は令和12年度に目指しているが、今回保険料率が道より示されたことから、今後、統一保険料率に向けた議論が必要と考えている。

本日は、令和4年度国民健康保険特別会計決算、令和5年度国民健康保険特別会計決算見込、令和6年度国民健康保険特別会計予算、令和5年度特定健康診査・特定保健指導実施状況など報告事項5件、富良野市国民健康保険第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）第4期特定健康診査等実施計画（案）の協議事項1件、国民健康保険税条例の一部改正の諮問事項1件について審議いただく。市民生活を支える、重要な国民健康保険を、今後も安定的に運営するために、委員各位のご意見と、協議をお願いしたい。

4 会議録署名委員の指名

会議録署名委員 日向委員、大西委員

5 報告事項

- 第1号 国民健康保険事業一般経過報告
- 第2号 令和4年度国民健康保険特別会計決算報告
- 第3号 令和5年度国民健康保険特別会計決算見込み
- 第4号 令和6年度国民健康保険特別会計当初予算
- 第5号 令和5年度特定健康診査・特定保健指導の実施状況

報告第1号 国民健康保険事業一般経過報告 事務局（多田医療年金係長）から議案により報告

質疑 北村委員

医療費通知送付の際の同封パンフレット「マイナンバーカードの健康保険証利用」があるが、マイナンバーカードの健康保険証の紐づけが現在のところどれくらいあるか。

回答 事務局（多田医療年金係長）

数字について把握していない。

質疑 北村委員

このパンフレットの啓蒙は令和6年度も継続するのか？

回答 事務局（多田医療年金係長）

継続する予定でいる。

質疑 北村委員

継続するのであれば、数字をしっかりつかみながら啓蒙活動をしていただきたい。

回答 事務局（多田医療年金係長）

はい。

報告第1号について承認

報告第2号から第4号 一括して事務局（多田医療年金係長）から議案により説明

質疑 大西委員

令和5年度国民健康保険特別会計決算（見込み）について、口頭での説明で特別交付金が約5800万円ほどになりそうとの説明があったが、昨年に比べると1000万円ほど減ることになるがまだ確定はしていないのか？これがもしもっと増えれば、基金の繰り入れはしなくて済むという認識で良いか？

回答 事務局（多田医療年金係長）

特別交付金についてはまだ確定していない。国民健康保険税の今後の収入額にも関係してくるが、特別交付金においても見込みより多く入ってくるようであれば、基金繰り入れについて減額の可能性もある。

質疑 増田委員

コロナの予防接種関係は、どこの医療費でみているのか？

回答 事務局（多田医療年金係長）

全額国費でみている。

質疑 大西委員

令和12年度の標準保険税率の説明があったが、富良野市としては標準保険税率より応益割が低いので、引き上げの検討を行なうのか？

回答 事務局（多田医療年金係長）

参考として令和12年度の標準保険税率の数字を載せ説明したが、この数字についても今後まだ変わってくる見込み。令和12年度には北海道どこの市町村でも同じ保険税率にすることが北海道の目標であるため、これに近くなるよう段階的な改正を含め検討が必要と考えている。

報告第1号から第4号について承認

報告第5号 令和5年度特定健康診査・特定保健指導実施状況

事務局（中尾健康推進係長）から議案により報告

質疑なし・第5号について承認

6 協議事項

議案第1号 富良野市国民健康保険 第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）第4期特定健康診査等実施計画（案）
について 事務局（中尾健康推進係長）から別冊議案により提案

質疑 増田委員

特定健診を受けてからの結果周知とその後の保健指導についてどのように結びついてくるか？

回答 事務局（中尾健康推進係長）

地域の担当保健師が治療の必要な方に直接説明し、病院宛の手紙を渡し受診をしてもらっている。対象の方に受診結果が出た際には、医師からどのように言われたかや、薬の状況などを確認している。治療状況によっては生活習慣の改善に向かうようアドバイスしたり継続して支援できるよう努めている。また、次の年に健診が途切れないよう、受診勧奨も行っている。

質疑 増田委員

流れは理解したが、例えば再検査した時のその後の流れはどのようになっているのか？

回答 事務局（中尾健康推進係長）

未治療の方は病院から連絡が来て把握できるようになっている。治療中の方は保健師から直接コンタクトをとり検査の結果などを聞き、データを把握するようにしている。

質疑 増田委員

自分が再検査してから、保健師からの指示や対応がない状況で時間も経過していたため心配になった。

回答 事務局（中尾健康推進係長）

医療機関によっては手紙が遅れ、保健師からの連絡も遅れる場合もある。心配であれば保健師に連絡いただければ治療に向け相談をさせていただく。

質疑 北村委員

特定健診の受診率について、年代性別でみると女性より若い男性の方が受診率は低くなっているが、要因と対策はどのように考えているか？

回答 事務局（中尾健康推進係長）

ご指摘のとおり若年層の男性の受診率が低く、仕事など忙しいこととご自身の健康に関心を向けられないのか分析がしきれていないが、引き続きの課題だと思っている。現在は国保の共同事業に参加し、その方の受診状況に応じて通知勧奨を実施しているが、コロナ禍で個別での受診勧奨をここ数年してこれなかった。この春からは担当保健師が過去のデータに基づき、電話や訪問など個別に受診勧奨を実施していき受診率の底上げをしていきたいと考えている。

質疑 北村委員

やれることに限りがあると思うが、若い時から健診を受けるよう啓蒙の仕方について知恵を絞って、例えばネットやスマホなどいろいろなものを使いながら啓蒙をお願いしたい。

議案第1号について承認

7 諮問事項

諮問第1号 富良野市国民健康保険税条例の改正について

事務局（須藤市民課長）から議案により提案

質疑なし・諮問第1号について諮問どおりの答申をすることで承認



8 その他

事務局（須藤市民課長）より事務連絡

次回の運営協議会は、委員の改選に伴う辞令交付及びデータヘルス計画の承認などについて、5月下旬頃に開催予定。

9 閉 会（須藤市民課長）

令和 6年 3月 27日

会長	早川 英 剛	
委員	大西 克 男	
委員	日向 稔	